

このシステムでできること…

目次

1. 算定漏えい量の集計	1
2. ログブックの作成・閲覧	3
3. 簡易点検記録の作成・閲覧	5
4. 行程管理票の作成・閲覧	7
5. 充填回収業者の都道府県報告書の作成・閲覧	9

1.算定漏えい量の集計

1. 管理者(又は統括部署登録した管理者)がログインして、メインメニューの「報告書作成・閲覧」をクリックして開きます。

算定漏えい量報告書、記録 作成、閲覧
報告書作成・閲覧

2. 報告書の出力方法を選択します。ここでは、PDFで作成した例を表示します。

報告書

管理者は、充填回収業者により情報処理センターに登録されたデータを利用し、算定漏えい量報告に必要な情報の集計・抽出が可能となります。

1. CSVデータ出力
2. 全社、統括部、事業所で漏えい量を算出したPDF出力
3. 国の報告書作成支援ツールへ適合したデータ出力

年度を選択後、報告書を作成してください

種類	<input checked="" type="radio"/> 算定漏えい量報告書 <input type="radio"/> 報告書作成支援ツール
対象年	2015 ▼年度

出力方法	<input type="radio"/> CSV <input checked="" type="radio"/> PDF
------	--

[戻る](#)

[作成](#)

3. 算定漏えい量報告書が表示されます。(PDF)

フロン類算定漏えい量の報告書

平成28年 1月 30日

(郵便番号) 105-0001
 住 所 東京都港区芝公園
 1-1
 氏 名 日本冷媒(株)
 電話番号 03-0000-0000
 事業所コード Y724394064

平成28年度

特定漏えい者のフロン類算定漏えい量 (合計はページ全体の合計となっております。)

フロン類の種類	①R22		②R410A		③		④		⑤		合計
	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)									
特定漏えい者全体	108	60	52	25	0	0	0	0	0	0	160
都道府県	算定漏えい量 (t-Co2)	実漏えい量 (kg)	算定漏えい量 (t-Co2)								
1. 東京都	77	43	31	15							109
2. 大阪府	30	17	20	10							51
3.											
4.											
5.											
6.											
7.											
8.											

4. CSVで出力した場合。

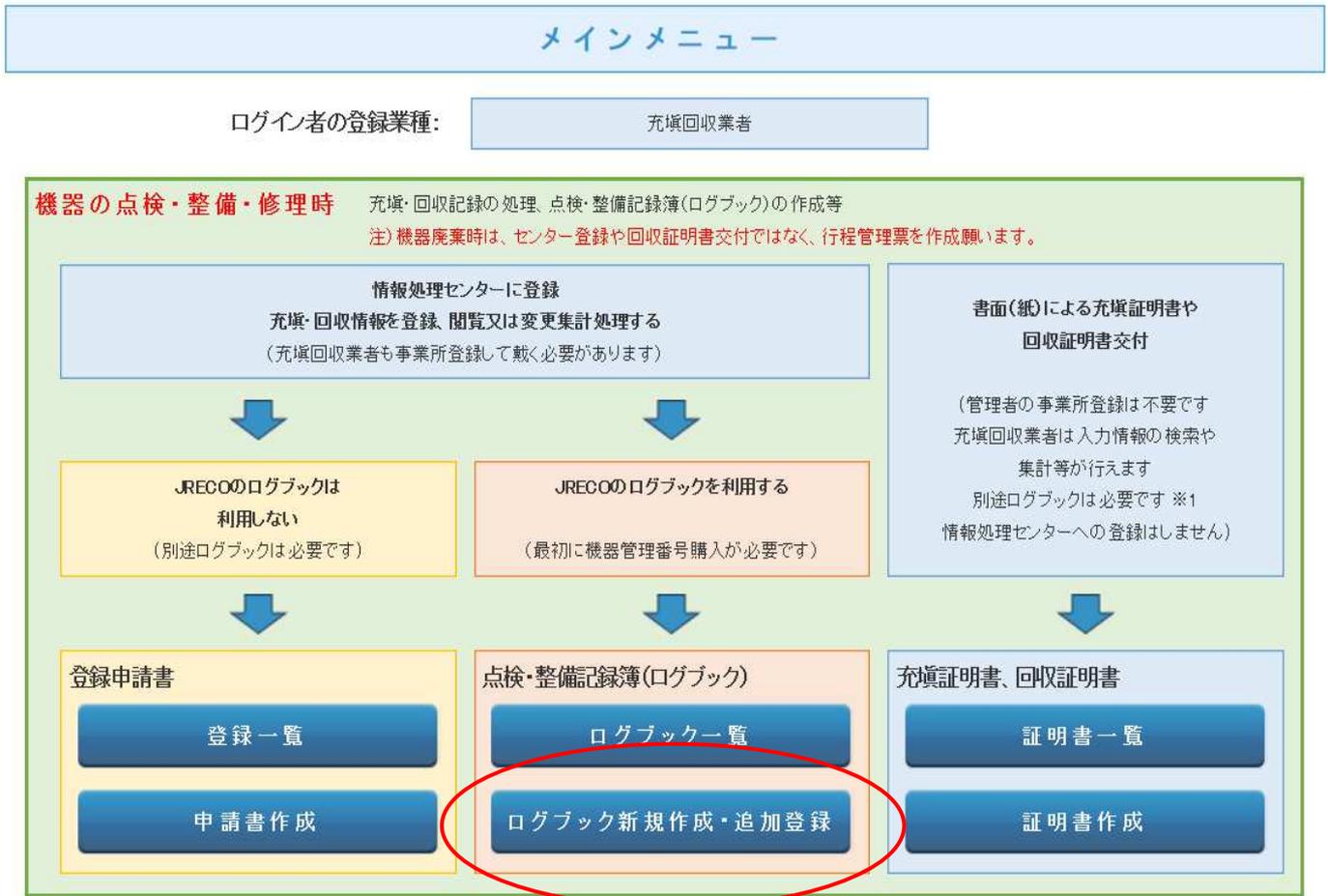
The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following structure:

- Columns:** A (No.), B (作業年月日), C (機器管理番号), D (名称), E (都道府県), F (住所), G (氏名・名称), H (住所), I (氏名・名称), J (住所), K (備考), L (充填量(kg)), M (回収量(kg)), N (漏えい量(kg)), O (排出量(kg)), P, Q.
- Section 1 (R22):** Rows 5-16, listing various equipment like ABCビル, 港区海浜2-2, etc., with leakage data.
- Section 2 (R410A):** Rows 23-35, listing equipment like A会館, 千代田区三崎町3-13-18, etc., with leakage data.
- Summary:** Rows 17 and 36 provide totals for each section.

★ 詳細は取説「6-8 算定漏えい量の集計方法」をご参照ください。

2.ログブックの作成・閲覧

1. 充填回収業者がログインして、「ログブック作成・追加登録」ボタンをクリックする。



2. 機器番号発行形式を選択します。
事前にシール購入等で機器管理番号を入手済みの場合は「管理番号入力」を、番号未入手なら「新規取得」を選択します。

The screenshot shows the '機器管理番号取得・入力方法' (Machine Management Number Acquisition/Entry Method) screen. It prompts the user to '機器番号発行形式を選択してください。' (Please select the machine number issuance method.)

Two options are available:

- 管理番号入力** (Management Number Input): 購入したシールの機器管理番号又は、すでに登録採番された機器管理番号を入力
- 新規取得(自動採番)** (New Acquisition (Automatic Numbering)): ログブックを登録した後に、システムが機器管理番号を自動採番します。

A '一覧へ戻る' (Return to List) button is located in the top right corner.

3. ログブックが表示されたらデータを入力します。

下の例は「新規取得」を選択した画面で、「管理番号入力」を選択した場合は管理番号も表示されます。

[一覧へ](#) [メインメニューに戻る](#)

冷媒漏洩点検・整備記録簿 〇〇〇年〇月〇日 ～ 〇〇〇年〇月〇日

注意1: 冷媒の充填・回収作業は、第一種フロン類充填回収業の知見を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。
 2: *が付いている項目は必ず入力してください。
 3: 機器廃棄の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに行程管理票を作成し、最初に機器管理番号を入力してください。

機器管理番号

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報 …管理者がログインすると、1表に管理者登録情報が自動記入されます。また充填回収業者がログインすると、2表に業者登録情報が自動記入されます。

施設管理者*	<input type="radio"/> 履歴から選択 <input checked="" type="radio"/> 事業者コードから選択 <small>事業者コードを入力してください</small>		事業者コード		法定管理者 (本社等) 名・住所		
施設名称*	<input type="text"/> 会社情報から取得	システム名	<input type="text"/>	設備製造者*	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
施設住所*	〒 <input type="text"/> 住所検索		設置年月日		<input type="text"/>	<input type="text"/>	
代表電話	<input type="text"/>		使用 機器	分類*	<input type="text"/>		
機器管理 従事者*	<input type="text"/>	同左電話		用途*	<input type="text"/>	製造番号*	<input type="text"/>
E-mail*	追加送信E-Mail: <input type="text"/>			型式	<input type="text"/>	圧縮機の原動機 の定格出力 kW	<input type="text"/>
				使用 冷媒*	<input type="text"/>	出荷時初期 充填量 kg*	<input type="text"/>

機器廃棄の場合は本記録簿への登録は不要です。代わりに行程管理票を作成し、最初に機器管理番号を入力してください。

2. 漏洩点検・整備・回収・充填記録 …登録番号、都道府県を入力すると業者登録情報が表示されます。充填冷媒が1表の使用冷媒と相違するとエラーとなります。
 一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した量は「戻し充填量」に、新たな冷媒を充填した量は「追加充填量」に記入して下さい。
 破壊再生冷媒がある場合は行程管理票発行も連携できます。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒*	回収量 kg	戻し充填 量 kg	追加充填 量 kg*	破壊・再生 量 kg	点検内容	点検結果
2015 ▾ 9 ▾ 10 ▾	設置時追加充填量 ▾	<input type="text"/>						
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容		直ちに修理困難な場合はその理由		修理予定日		
備考								
作業請負者社名			所在地			作業担当者*	資格者証	
山田回収業(株) 東京都			〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1			<input type="text"/>	<input type="text"/>	
登録番号	登録都道府県	E-mail	代表電話					
T123	東京都	tari@jreco.or.jp	03-1111-1111					

整備者あり 整備者なし

実施作業は2表の内容に相違ありません。 作業請負者責任者確認*: ⇒ 管理者承諾:

3. 冷媒の充填・回収状況 …確認画面を表示すると自動計算されます。「初期総充填量」は出荷時初期充填量と設置時追加充填量の合計で、「合計充填量」には含まれません。
 「合計排出量」は「合計充填量」と「合計回収量」の差です。

充填冷媒	(参考) 温暖化係数	初期総充填量 kg	合計充填量 kg	合計回収量 kg	合計排出量 kg	排出量CO2トン
---	---	---	---	---	---	---

4. 点検・整備・充填・回収履歴 …2表に記入された内容が自動転記されます。但し作業請負者情報は表示されません。充填量は、戻し充填と追加充填の合計量です。冷媒量に関する集計結果は3表に表示されます。

状態	伝票 番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充填量 kg	点検内容	点検結果	漏洩・故障原因	漏洩・故障箇所	修理内容 (交換部品)	操作

[一覧へ戻る](#) [確認画面へ](#) [ページトップ ▲](#)

ログブックの詳細は、取説「3. ログブックの新規登録方法」をご参照ください。

3.簡易点検記録の作成・閲覧

1. 管理者又は充填回収業者がログインして、メインメニューの「ログブック一覧」をクリックして開きます。どちらの登録者でも簡易点検は登録出来ます。
(下記の場合は、管理者でログインしています)



2. 点検・整備記録簿一覧から該当する機器番号を選択して、「簡易点検」をクリックします。

1件~5件 (合計: 5件)

No	最終登録日	機器管理番号	状態	最新作業日	点検・整備記録簿 登録数	施設管理者	製品分類	製品施設 都道府県	操作
1	2016-01-06	FU83-A4AD-DV5G	利用可能	2015-12-31	2件	目黒スーパー(株) 本社	ビル用パッケージエアコン	東京都	閲覧 簡易点検 パス設定 閉鎖
2	2015-12-28	ZEKN-GZBB-XDXG	利用可能	未登録		目黒スーパー(株) 本社	冷凍冷蔵用チラー	東京都	閲覧 簡易点検 パス設定 閉鎖

3. 簡易点検記録表が表示されます。

各項目を点検して□チェックの箇所をクリックして、 (チェックマーク)を入れます。

冷媒漏洩点検・整備記録簿 2014年10月10日 ~ ----年--月--日

注意:冷媒の充填・回収作業は、第一種フロリダ類充填回収業の知見を有する資格者本人によるか、またはその立会いが必要です。
*が付いている項目は必ず入力してください。

機器管理番号	FL63-A4AD-DV5G
--------	----------------

1. 第一種特定製品の管理者・施設・製品情報 …管理者がログインすると、1表に管理者登録情報が自動記入されます。また充填回収業者がログインすると、2表に業者登録情報が自動記入されます。

施設管理者	目黒スーパー(株) 本社 〒100-0001 東京都千代田区千代田	事業者 コード	H844175900	法定管理者 (本社等) 名・住所	目黒スーパー(株) 本社 〒100-0001 東京都千代田区千代田			
施設名称	目黒スーパー(株) 本社	系統名	A-1	設備製造者	<input type="button" value="v"/> 日本製造 <input type="button" value="v"/>			
施設住所	〒100-0001 <input type="button" value="住所検索"/> 東京都 <input type="button" value="v"/> 住所1 千代田区千代田 住所2 <input type="text"/>	設置年月日	2014 <input type="button" value="v"/> 10 <input type="button" value="v"/> 10 <input type="button" value="v"/>	使用 機器	分類	<input type="button" value="ビル用パッケージエアコン"/>		
代表電話	03-1111-2222	用途	<input type="button" value="空調用"/>		製造番号	T15555		
機器管理 従事者	目黒スーパー本社 管理	同左電話	03-1111-2222		型式	T5	圧縮機の原動機 の定格出力 kW	5
E-mail	too_0405@yahoo.co.jp 追加送信E-Mail: <input type="text"/>	使用 冷媒	R410A		出荷時初期 充填量 kg	15.00		

2. 簡易点検記録

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	点検者名*
2016 <input type="button" value="v"/> 1 <input type="button" value="v"/> 6 <input type="button" value="v"/>	<input type="button" value="ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン"/>	<input type="text"/>
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油にじみなど	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
6. 漏えい兆候	<input type="button" value="なし"/> コメント: <input type="text"/>	
7. 気付き事項	コメント: <input type="text"/>	

4. 過去の簡易点検記録を見る時は、3. 簡易点検履歴の「閲覧」をクリックして表示させます。

2. 簡易点検記録

作業年月日*	簡易点検フォーマット*	点検者名*
2016 <input type="button" value="v"/> 1 <input type="button" value="v"/> 6 <input type="button" value="v"/>	<input type="button" value="ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン"/>	<input type="text"/>
1. 室外機の異常振動・異常運転音状況	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
2. 室外機及び周辺の油のにじみ	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
3. 室外機のキズの有無、熱交換器の腐食、錆、傷など	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
4. 室内機の熱交換器の霜付きの有無	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
5. (店舗用パッケージエアコン) 熱交換器の霜付き、油にじみなど	<input type="checkbox"/> チェック コメント: <input type="text"/>	
6. 漏えい兆候	<input type="button" value="なし"/> コメント: <input type="text"/>	
7. 気付き事項	コメント: <input type="text"/>	

3. 簡易点検履歴 …2表に記入された内容が自動転記されます。

状態	伝票番号	作業年月日	簡易点検フォーマット	操作
完了	S0001	2016-01-06	ビル用マルチエアコン・店舗用パッケージエアコン	閲覧 破棄

以上

4.行程管理票の作成・閲覧

1. 充填回収業者がログインして、メインメニューの「行程管理票作成」をクリックして開きます。

機器の廃棄時 行程管理票の作成、交付・回付、閲覧、再発行、破棄

行程管理票一覧

行程管理票作成

注) JRECOのログブックをご利用の場合は、行程管理票作成画面に機器管理番号を入力すると管理者情報等がログブックから自動転記され、ログブックは閉鎖されます。(閉鎖後も閲覧は可)
JRECOのログブックをご利用されない場合は、新規に入力してください。

2. 作成方法を選択します。ここでは、「電子モード」を選択します。
なお紙モードは、廃棄者がインターネットを利用できない状況にあるような場合に選択してください。

作成方法 [一覧へ戻る](#)

作成方法を選択してください。

・電子モードとは、
廃棄者や取次者、回収業者等の関係者で、それぞれに担当する情報を入力した伝票を電子メールで送・受信して作成します。
承諾が必要な場合は、電子メールで送った伝票にサインして返信するといった方法で確認を行います。

・「紙モード」とは、
関係者にインターネットが使用出来ない方がいるなどの場合は、従来の紙(複写様式)で行程票を作成すると同要領で作成します。
最初は、JRECOのホームページに入力して起票して載せますが、その後は印刷出力した紙を渡して捺印してもらう方法で承諾を得て作成を進めます。
なお、回収業者に係る冷媒回収量などのデータは、サーバーで管理します。

電子モード

紙モード

3. A票が表示されますので必要事項を記入します。

A票

伝票番号

交付年月日

2015 8 10

回収依頼書

■廃棄する機器の所有者等

廃棄 機器整備/修理

機器管理番号

機器所有者の氏名または名称	<input checked="" type="radio"/> 履歴から選択 <input type="radio"/> 事業者コードから選択 氏名または名称を選択してください 目黒スーパー(株) 本社	廃棄する機器がある施設(建物)名	目黒ビル
上記の住所	〒100-0001 住所1 東京都千代田区千代田 住所2	上記の住所	〒100-0001 住所検索 東京都 住所1 千代田区千代田 住所2
担当責任者 <small>この項目は廃棄機器所有者に記入していただく項目です</small>	部署名	氏名	
電話番号	03-1111-2222	FAX番号	03-1111-3333
廃棄する機器の種類および台数	エアコンディショナー 0 台 冷蔵機器および冷凍機器 2 台	建物の解体(含む修繕・模様替え)の有無	<input type="radio"/> 解体(修繕等あり) <input checked="" type="radio"/> 解体(修繕等)なし
フロン等の引渡し先	<input checked="" type="radio"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する <input type="radio"/> 取次者に委託する		

■第一種フロン類充填回収業者

第一種フロン類充填回収業者登録番号	T123	回収する都道府県	東京都
フロン類引取完了年月日		引取証明書交付年月日	
充填回収業者の氏名または名称	回収業者を選択してください 山田回収業(株) 東京都	回収技術者氏名	
上記の住所	〒100-0001 住所1 東京都千代田区千代田 住所2 1-1		
担当責任者	部署名	氏名	
電話番号	03-1111-1111	FAX番号	03-1111-2222

■コメント欄

一覧へ戻る

確認画面へ

ページトップ ▲

★ 詳細については、取説「1. 電子行程管理票の作成方法」をご参照ください。

5. 充填回収業者の都道府県報告書の作成・閲覧

1. 充填回収業者がログインして、メインメニューの「報告書作成・閲覧」ボタンをクリックします。



2. 「フロン充填回収量報告書」を選択して、PDFで出力します。

報告書	
26年度(平成27年5月15日)提出分は旧形式としてPDFでフロン類充填回収業者記録表、都道府県報告書は対応しております。	
年度を選択後、報告書を作成してください	
種類	<input type="radio"/> フロン類充填回収業者記録表 <input checked="" type="radio"/> フロン充填回収量報告書
対象年	2015 ▼年度
	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 都道府県別
形式	<input checked="" type="radio"/> 新形式
出力方法	<input type="radio"/> CSV <input checked="" type="radio"/> PDF
戻る	作成

3. 報告書が作成されました。これを印刷して報告書として提出します。

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

平成28年 1月 30日

東京都知事 殿

(郵便番号) 103-0000
 住 所 東京都中央区虹橋
 4-4
 氏 名 東回収
 代表者 回収一郎 印
 電話番号 03-0022-0011
 登録番号 tokyo012345

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、次のとおり報告します。

CFC	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
CFCを充填した第一種特定製品の台数	0台	0台	0台	0台	0台	0台
[1]充填した量	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg
	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一種特定製品の台数	0台	0台	0台	0台	0台	0台
[2]回収した量	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg	0.00 kg
[3]年度当初に保管していた量					0.00 kg	0.00 kg
[4]第一種フロン類再生業者に引き渡した量					0.00 kg	0.00 kg
[5]フロン類破壊業者に引き渡した量					0.00 kg	0.00 kg
[6]法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					0.00 kg	0.00 kg
[7]省令49条に規定する者に引き渡した量					0.00 kg	0.00 kg
[8]年度末に保管していた量					0.00 kg	0.00 kg
HCFC	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
HCFCを充填した第一種特定製品の台数	0台	1台	2台	7台	2台	8台
[9]充填した量	0.00 kg	20.00 kg	35.00 kg	59.00 kg	35.00 kg	79.00 kg
	(1)エアコンディショナー		(2)冷蔵機器及び冷凍機器		(3)合計	
	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
HCFCを回収した第一種特定製品の台数	0台	0台	4台	0台	4台	0台
[10]回収した量	0.00 kg	0.00 kg	16.00 kg	0.00 kg	16.00 kg	0.00 kg
[11]年度当初に保管していた量					0.00 kg	0.00 kg
[12]第一種フロン類再生業者に引き渡した量					0.00 kg	0.00 kg
[13]フロン類破壊業者に引き渡した量					10.00 kg	0.00 kg
[14]法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					0.00 kg	0.00 kg
[15]省令49条に規定する者に引き渡した量					0.00 kg	0.00 kg
[16]年度末に保管していた量					6.00 kg	0.00 kg